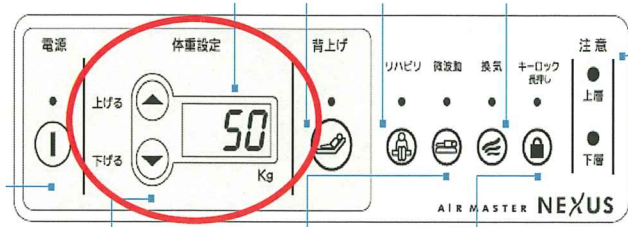


エアマット使用に関する留意事項

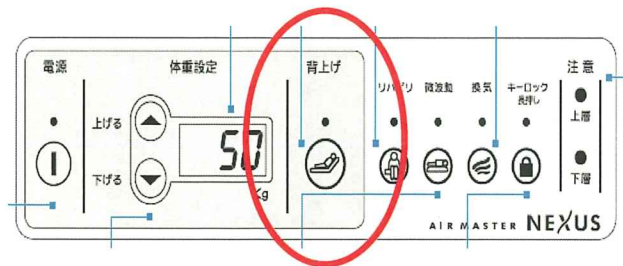
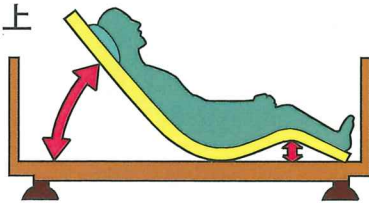
1. 体重設定が必要です。(一部の機種を除く)

体重は5kg単位で設定となりますので、低い方で設定してください。(例:43kg→40kg)
停電になりますと設定がリセットされますので、再設定が必要です。(一部の機種を除く)



- ### 2. ベッドの背もたれを30°以上、上げられる時はポンプの「背上げ」ボタンを押してください。
- 背上げすると体重がお尻にかかっていきますので、通常の空気圧だとお尻がくぼんで最悪、ベッドの床板にお尻が当たる可能性があります。(体重自動調整エアマットは除く)

30°以上



- ### 3. 電気毛布をご使用される場合は、ベッドとエアマットの間に入れてください。エアマットの中の空気が暖められて、暖かくなります。
- ※電気毛布の中の銅線で床ずれができてしまいますので、直接身体に触れるご使用はお止めください。
- ※どうしても寒いと言われる方は「電気掛け毛布」をご使用ください。



ベッドとエアマットの間に
入れてください

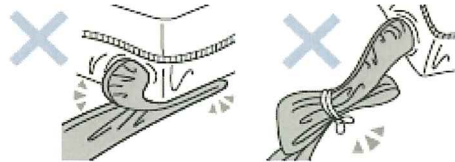
- ### 4. 変形や火災の原因になりますので、ストーブの近くでのご使用はお止めください。



5. 送風チューブは必ず足元側になるように設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。

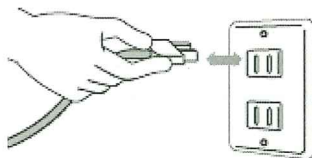


6. 送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマット内に送り込まれなくなり、エアマットとしての期待した効果が得られない恐れがあります。



7. エアマットが膨らまない時は次の箇所を点検してください。

①電源プラグが抜けていないか

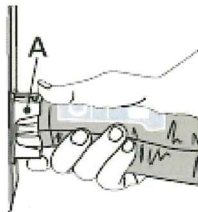


②電源が切れていないか

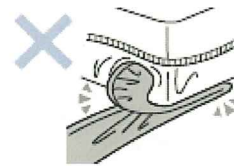


■ポンプ操作パネル

③送風チューブが外れていないか



④送風チューブが折れ曲がっていないか



8. ポンプの注意ランプが点滅した時は、上記③④の送風チューブに異常がないか確認していただき、異常がなければすぐに弊社に連絡してください。



■ポンプ操作パネル

